

## キョウワジャンヌがフランスを救う！

先週がインド、ガンジスだったので、今週はドナウブルー。美しき青いドナウ（ドナウ川）でやればいいのかもしいないが、やめた。今週はやはり、フランス・ショックだ。

フランス大統領選挙は5月6日、決選投票が行われ、予想通り、現職のサルコジ氏が負け、左派最大野党の社会党フランソワ・オランド前第1書記（57）が初当選してしまった。これで、ギリシャ総選挙の結果と併せて、翌日から世界中で株価が急落した。

フランスもギリシャも有権者は財政規律路線に反発した。ようするに、これ以上、税金を払いたくない。ツケを払いたくない。払わせようとする政治家は選挙で落とすというのだ。これは、民主主義の末期症状で、いずれ政治が機能しなくなるかもしれない。

とまあそれは別の話として、フランスという以上、買える馬は1頭しかいない。キョウワジャンヌ。ジャンヌはジャンヌ・ダルクのジャンヌ。フランスを救えるのは彼女しかいないということで、この馬の単・複と馬単、馬連総流し。

今日はジャンヌだ！

前回12着大敗と、出走全馬のなかでいちばん着順が悪いことも好材料。厚めの相手は、同じく着順が11着と悪いドナウブル  
ー、10着の

レディアルバローザ

。前走着順の悪さでは7着のアパパネも上位に来る。牝馬は好調馬を狙えと言うが、そんなことをする意味がどこにあるのだろうか？